

自衛隊移駐 市民の反応は

遠藤洋一 議員

質問 自衛隊移駐に伴い共同統合運用調整所が設置されるところで、横田基地は福生市とともに大きな転換点を迎えることになると思う。私は反対だが5市1町の対応や市民の御意見を踏まえた市長の見解は。

市長 今回の再編は国防の視点から考える必要があるが、市民から寄せられた意見をもとに議会の御意見

を伺ながら福生市としての方針を決めていきたい。



▲横田基地内の飛行機

子どもたち自身に犯罪から身を守る力を

青海俊伯 議員

質問 子ども自身が訓練を受けて犯罪から自分を守れるよう、C A P導入の質問を前にしたが、試験的に導入したいとのことだった。その後何を検討し、実施してきたか。

教育長 「子ども110番の家」の充実を初め、C A Pなどの活用時のP T A等への支援のあり方を検討、また都が取り組むセーフティー教室の

一層の充実とともに、安全教育に対する教員の指導力向上を図った。



▲地域安全マップの発表会

一般質問

(要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、19人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にたたしました。質問の概略の掲載は一問とさせていただき3から6面に掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載させていただきました。詳しくは、5月下旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただけます。福生市のホームページからご覧ください。

まちづくり条例 市民参加でつくろう

中森富久 議員

質問 三鷹市など自治基本条例制定まで市民・職員・議員で議論を重ね5年を要した。当市も協働推進条例作成の動きがあるが、市民が勉強のため職員の研究会に参加できないか。

市長 市民参画、協働が進み当市も基本的な条例の制定が必要と考えており、職員も研究をしていくが、市民も自主学習を進める中で職員との

合同検討会等、議論する機会が出てくると思う。



▲市職員の研修

農業の現状と今後の取り組みは

増田俊一 議員

質問 定年を迎えた農業志向の方や子どもたちに農業体験の場の提供を。また生産緑地保全のための方策や、都市農業への東京都や近隣自治体の支援策を伺いたい。

市長 緑の基本計画や環境基本計画で生産緑地の保全など具体的な取り組みを定めている。市と農業委員会で農地パトロールをして保全に努

め、都や西多摩の農業委員会と連携して市民への情報提供を進めている。



▲北田園にある田んぼ

国道16号線渋滞 その現状と課題は

今林昌茂 議員

質問 国道16号線は横田基地の第2ゲートから武藏野橋が特に渋滞しており、環境は最悪で、沿道住民は毎日排気ガスを吸っている。渋滞の現状をどう認識し、その課題は何か。

市長 御指摘の区間は特に朝夕渋滞が激しく、沿道のみならず周辺環境も悪化している。国土交通省では小荷田交差点まで4車線拡幅の工事

中だが、早期実現に向けさらに要望していきたい。



▲渋滞する国道16号線 武藏野橋付近

保育行政の現状と民営化等の考えは

大野聰 議員

質問 児童一人当たりの年齢別保育経費と利用者負担額、都の補助金制度の変更について、保育園民営化の考え方、民間保育所第三者評価制度の実施状況は。

市長 ゼロ歳児が月額30万2000円、保護者負担分は6.5%である。都では新たに子育て推進交付金制度が創設された。公立保育園民営化によりコ

スト削減等が図られる。第三者評価制度は2園で実施する。



▲つくし保育園の園児の散歩の時間

公共施設へAEDの設置を

沼崎満子 議員

質問 公共施設へのA E D設置に向け、設置場所、使用できる対象者、研修方法、補助金等の状況を伺いたい。

市長 平成17年度中に25台を設置予定で、市民の方には保健センターや消防署での講習会への参加推進、職員や施設関係者は救急実技研修会を実施する。

また、都の福祉改革推進事業補助

金を活用しており、市内の小中学校や体育館等に設置する。



▲AEDの研修会

築後44年の牛浜駅舎 バリアフリー化の計画は

原島貞夫 議員

質問 牛浜駅周辺は公共施設も多く、また横田基地のカーニバルに来る20万人の乗降客対策にもバリアフリー化した駅舎建て替えが望まれるが、今後の見通しを伺いたい。

市長 急階段も含め改善要望をしてきたが、バリアフリー化駅舎への建て替え計画は現時点ではないとのことだが、市の要望で実施した基本

調査結果に基づき今後協議を続け、関係市町と要望を続けていきたい。



▲牛浜駅のバリアフリー化は

行政改革推進数値や期限の設定を

前田正蔵 議員

質問 行政改革は数値目標と期限の設定がなければ絵に書いた餅に過ぎない。目に見える数値や期限を示して進めていただきたいが、市長の考えは。

市長 成果が明確になるよう目標の数値化や、具体的な指標を用いることが市民の信頼、理解を得ると考え、第四次行政改革大綱でも経常収支比

率や財政規模、適正職員数等の目標を設定して進めていきたい。



▲福生市行政改革大綱